

1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	総務部 危機管理課長	
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上	成果	コスト			
事務事業名	防災用資機材の確保			連絡先	052-654-7817	
目的	対象(誰・何を) 防災用資機材(油吸着マット、油処理剤等)			連携課	海務課	
	意図(どうい う状態にしたいか)	保管数量及び保管場所を適正に確保します。			事業 期間	昭和38年度～
概要	防災用資機材の点検を行い、防災用資機材の保管数量及び保管場所を適正に確保していきます。			根拠 法令等	名古屋港管理組合 防災計画	
令和元年度の実施予 定	防災用資機材の数量の点検及び保管場所の確認を実施します。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
				関連 シート		

2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	防災用資機材の数量の点検及び保管場所の確認を実施しました。また、新型コロナウイルス感染防止に向け、本庁舎での手指消毒液設置を行うとともに、名古屋港運協会など港湾関係者へも本組合備蓄のマスク等を提供しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	7,964	2,655	令和元年度より、事業費の考え方を見直したため、事業費が増加しております。
人件費	千円	460	460	461	460	
合計	千円	460	460	8,425	3,115	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
防災用資機材の数量点検の実施率(%) (単年度管理型)	目標			100	100	防災用資機材の保管数量の点検を年1回行います。	
	実績	100	100	100			
	事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
防災用資機材の保管場所確認の実施率(%) (単年度管理型)	目標			100	100	防災用資機材の保管場所の確認を年1回行います。	
	実績	100	100	100			
	事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	点検を実施し、防災用資機材の保管数量及び保管場所を適正な状態で確保しています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	非常時の防災活動を的確に遂行するため、防災用資機材を確保することは本組合として必要性の高い事業です。				
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	防災用資機材を確保することは、非常時における防災活動の迅速かつ的確な遂行につながります。点検により、保管数量及び保管場所を適正な状態で確保し、目標を達成することができました。				
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	適切な人員で防災用資機材の数量の点検及び保管場所の確認を実施しました。				

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	拡大	拡大	防災用資機材の確保は継続的に実施する必要があるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためのマスク等の資材確保も必要のため。
	資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
課題			2年度以降の取組
防災用資機材の保管数量及び保管場所の適正な状態を継続していくことが必要です。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、マスクや手指消毒液について、防災用資機材として確保しておく必要があります。			引き続き、防災用資機材の点検を行い、防災用資機材の保管数量及び保管場所を適正な状態で確保していきます。また、感染症の拡大に備え、マスク等の必要な資機材の確保に努めます。